

研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくて実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

記

研究の名称	患者満足度からみた突発性難聴治療の聴力評価法についての検討
対象	2015年1月1日から2028年8月10日までの期間に当科で突発性難聴として通院された患者さんのカルテからわかる情報、満足度アンケートを研究に利用いたします。本研究では18歳以上の患者さん1000人を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2028年8月10日 本研究は、期間を延長して実施する予定です。
試料・情報の利用目的及び利用方法	利用目的：突発性難聴の聴力改善を評価する判定方法には厚労省研究班による聴力回復判定基準、聴力改善率などがありますが、これらはどの程度よくなったかという視点に着目されて分類しています。しかし、例えば難聴の程度が強い場合は、聴力の数値がかなり良くなっても、難聴が残っていることがあります。この場合、いままでの基準ではかなり回復したという判断になり、よくなった方ですねと言われるのですが、実際には日常生活で不自由さが残り、ギャップを感じられることがあるかもしれません。どの聴力レベルに戻ったかという点に着目した治療評価法はまだまだかつてありません。そこで、どの程度よくなったかではなく、どの聴力レベルに戻ったかという点に視点をのいた実生活により即した新しい聴力判定基準を考案し、それが有用かどうかを検討するのを目的として

	<p>います。</p> <p>利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。患者さんには聴力が固定した時に、アンケートで治療後の聴力の満足度をうかがい、解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>試料：なし</p> <p>情報：検査データ、診療記録、患者満足度アンケート等</p>
<p>利益相反について</p>	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
<p>研究者名</p> <p>【研究責任（代表）者】</p> <p>大阪医科薬科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 専門教授 萩森 伸一</p>	
<p>参加拒否の申し出について</p> <p>ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<p><問い合わせ窓口></p>	

【研究機関】

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

担当者 尾崎 昭子

連絡先 072-683-1221 (代) 内線 2339

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 萩森 伸一 殿

研究の名称	患者満足度からみた突発性難聴治療の聴力評価法についての検討
-------	-------------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）